

さらば平成—世界と日本

30年を振り返って未来を考える

期日 / 場所	講座タイトル	講師
5月25日(土) 12:30-14:30 市民交流センター 第2・3会議室	第1回 ■ 激動の世界 -ベルリンの壁崩壊からトランプまで-	朝日新聞編集委員 元「報道ステーション」 コメンテーター 三浦 俊章氏 
6月1日(土) 12:30-14:30 同上	第2回 ■ 一帯一路を目指す中国 -天安門事件をどう乗り越えたか-	東洋学園大学教授 テレビコメンテーター 朱 建榮氏 
6月15日(土) 12:30-14:30 同上	第3回 ■ “経済大国”日本 -失われた30年を振り返る-	大和総研経済調査部 シニアエコノミスト 近藤 智也氏 
6月22日(土) 12:30-14:30 同上	第4回 ■ 皇室の30年 -天皇の御代替わりとその後の皇室-	皇室ジャーナリスト 元宮内庁職員 山下 晋司氏 

申し込み方法・問い合わせ先

受付期間 : ~5月15日(水) 定員 : 60人(定員を超えた場合は抽選)

申込方法 : ①講座名:「さらば平成—世界と日本」(選択希望講座あれば第1回—4回を備考欄に)

②〒・住所 ③氏名 ④電話番号/FAX をご記入の上、はがき・FAX・メール・ホームページ
 及び来館頂き、ずし楽習塾ポストへ所定申し込み用紙にご記入の上投入してください。

資料代 : ¥500(4講座分) ※応募多数時(定員60名)は抽選

申込み先 : 〒249-0006 逗子市逗子4-2-11 市民交流センター気付

NPO法人ずし楽習塾推進の会 Eメール z-gakushujuku@bz04.plala.or.jp

ホームページ URL <http://zushigakushu.jp/>

問合せ先 : TEL/FAX 046-871-7007 ※ 電話での受付はいたしません。



さらば平成—世界と日本

30年を振り返って未来を考える

各講座要旨ご案内

期 日	講座タイトル&要旨	講 師
5月25日 (土) 	第1回 激動の世界 —ベルリンの壁崩からトランプまで—	朝日新聞編集委員 元「報道ステーション」 コメンテーター 三浦 俊章氏
6月1日 (土) 	第2回 — 一帯一路を目指す中国 — — 天安門事件をどう乗り越えたか —	東洋学園大学授教 テレビコメンテータ 朱 建榮氏
6月15日 (土) 	第3回 “経済大国” 日本 — 失われた30年を振り返る —	大和総研経済調査部 シニアエコノミスト 近藤 智也氏
6月22日 (土) 	第4回 皇室の30年 — 天皇の御代替わりとその後の皇室 —	皇室ジャーナリスト 元宮内庁職員 山下 晋司氏

平成は、ほぼ「冷戦後」の時代に相当する。1989年にベルリンの壁が崩壊したとき、多くの人はいびラル・デモクラシーが勝利した、これからは永続的な平和の時代が来ると期待した。それから30年。世界各地でポピュリズムが広がり、独裁的な政治が勢いついている。人類はどこで間違えたのだろうか。

中国、米中、日中などをめぐる世界情勢は2019年、大きく動き出す。米中貿易戦争が妥結できなければ新冷戦突入の可能性が現実化してくる。日本でG20が開かれ、習近平主席も訪日する予定だが、世界が抱える様々な問題と危機に関して日本はどこまで、どのようなイニシアチブを見せられるか。これらの問題を踏まえて、天安門事件30周年に当たり、歴史的な視野をもって現在情勢の背後にある各自の思惑、今後の展望について語りたい。

平成が始まった当初、日本経済はバブル景気を謳歌し、株価も3万9,000円近くまで上昇しました。バブル崩壊と共に長い景気低迷の時代に入り、一時、株価は約7,000円まで落ち込みました。アベノミクスによって約27年ぶりの高値まで戻したものの、この間、少子高齢化は一段と進み、多くの課題が山積したままです。世界的に見れば、2割近くあった日本経済のシェアは、5%程度に縮小しています。平成の30年を振り返りつつ、次の30年がどんな時代になるか、考えてみたいと思います。

今年4月30日に天皇陛下は退位され、上皇になります。皇室の歴史の中で上皇の存在は珍しくありませんが、明治以降の近代国家では初めてのことです。平成の時代に名実ともに確立したと思われる象徴天皇制度は、上皇の存在によって新たな試練を迎えるかも知れません。また、喫緊の課題とされている皇位継承や女性宮家の問題は結論が出るのでしょうか。